



にじのはし幼稚園 園だより



令和4年11月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 石川典子

2学期後半となり、深まりゆく秋を感じる頃となりました。にじっこ運動会では、保護者、ご来賓の皆様、子どもたちが生き生きと競技に取り組み、心と体を動かして楽しんでいる様子を見ていただきました。運動会アンケートには、子どもたちの成長に関する温かいコメントが多く寄せられました。保護者の皆様と一緒に、半年間の園生活を通して、子どもたちが心も体も健やかに育っていることを実感できたことをうれしく思います。

本園は、幼児の主体性を重視した保育の中で、幼児に感動体験を積み重ね、豊かな感性や創造性、思考力を育てています。

発達段階や季節に合わせて、生き物との触れ合いや、
植物の栽培や収穫などの自然体験を通して、
自然を愛する気持ちを育み、命あるものを愛おしむ気持ちの芽生えを培います。
(幼稚園経営計画 4 経営の重点の今年度の主な取り組み より)

年長組が畑を耕し、苗を植え、水やりをして、大切に育てたサツマイモを掘りました。今年はツルが勢いよく、緑のカーテンのネットや非常階段のフェンス、玄関脇まで伸びました。年長組は「サツマイモを掘る」という目的に向け、主体性を発揮し、畑を埋め尽くしている芋のツルを次から次へと意欲的に引き抜いていました。ネットに絡んだツルはびくともしないため、友達に助けを求め、数人で協力して取っていました。後ずさりしながら引っ張り、ようやくツルが取れると、長さに驚き、丈夫なことを感じていました。土は固く、手で掘ることや、芋が半分頭を出しても引き抜くことができずに苦労していました。掘り出した後は、芋の形や大きさ、重さを比較し、たくさん収穫できたことを喜びました。

年中・年少組は、これからの花や野菜を育てるために、プランターの土をきれいにしました。育てていた夏野菜の茎を抜き、シートに土を出して、根を取り除きました。収穫していた頃とは変化した茎や葉、土の中に隠れて見えなかった根の形や色、太い根から細い根が出ていることなど、見て、触れて、感じたこと、気付いたことが多かったようです。今後、子どもたちは、野菜の皮をちぎってぬかに混ぜ、肥料を作ります。きれいにした土に混ぜ、新しい球根を植え、種をまきます。季節の変化と共に、自分たちが育てた花や野菜が変化していくこと、季節に合わせて花や野菜を育てること、使った土や野菜の皮を大事に使い、花や野菜が育つことなど、自然と関わる体験を通して多くを学んでいきます。

子どもたちは自然が大好きです。たくさんの不思議や面白さに出会うことができるからでしょう。自然物と関わり、感動したり、気付いたり、思考したり、想像したりする体験が、子どもたちの感性や創造性、思考力を豊かにします。生涯にわたって自然を愛し、大切にしようとする人間へと成長します。

幼児期の教育は、知識や技術を教え込むのではなく、幼児自らが心揺さぶられる体験を通して、様々な感じながら主体的に学んでいくことが大切です。

